

本邦産てんつき屬ノ分類

大井次三郎

Jisaburo OHWI: Notes on Japanese *Fimbristylis*

莎草科植物中デすげヲ除ケバ 30 種以上ノ屬ハ比較の少ク、*Cyperus*, *Fimbristylis*, *Scirpus* ノ 3 屬ニ過ギナイ。ソノ内デ *Fimbristylis* ハハツキリシタ分類系ガ出來テ居ラズ、且變化ノ甚ダシイ種類ガアル爲メニ分類ガ面倒デアツタ。頃日本邦ノ *Fimbristylis* ヲ調査シ、二三新シイ事實ガアツタノデ詳細ハ後日ニ譲リ、ソノ大略ヲ記述シタイ。

此屬ハ剛毛ノナイ瘦果ト、成熟スルト容易ニ基部ノ膨大部ト共ニ脱落スル花柱トガ著シイ特徴デ、*Bulbostylis* 及ビ *Scirpus* ニ比較的近縁デアル。*Scirpus* ト相違シテ元來熱帶地方ノ低地ニ多ク産シ、本邦デモ臺灣ニ最モ多ク邦産ノモノノ大部分ハ臺灣ニ分布シテ居ル。反對ニ北海道以北ニハ種ノ數モ個體ノ數モズツト少ナク、千島ヤ樺太ニハ分布シテ居ナイ様デアル。現在用ヒラレテ居ル分類分式ハ *Eleocharoides*, *Dichelostylis*, *Trichelostylis*, *Abildgaardia* ノ 4 節ニ區分スルモノデ、之レハ BENTHAM ガ *Flora Australiensis* デ採用シタノガ初メデアラウ。尤モソノトキニハ尙 *Oncostylis* 節モ含メテ居ルガ、之レハ現在デハ分離サセテ *Bulbostylis* ト云ツテ居ル群デアルカラ此處ニハ直接關係ガナイ。尙ソレヨリ以前ニ柱頭ノ數ニヨツテ *Fimbristylis* Proper ト *Trichelostylis* ト *Oncostylis* トノ 3 節ニ A. GRAY ガ區分シテ居ルノハ注目スベキデアラウ。ソノ後ノ學者ニヨル分類方式ハ BENTHAM ト大同小異デ、莎草科ノ專門家デアツタ C. B. CLARKE モ之レヲ襲用シテ居ル。E. G. GAMUS (in Lecomte, *Flor. Génér. Indochin.* vol. 7, 1912) ハ *Echinolytrum* 屬ヲ認め、又 *F. tetragona* ニハ *Mischospora* ナル小群ヲ *Fimbristylis* 屬中ニ設立シ、又 *Eleocharoides* ヲ花柱ノ枝ノ數ニヨツテ *Néodichelostylis* ト *Neotrichelostylis* ノ二ツニ細分シテ居ル。此ノ *Eleocharoides* ハ他ノ節トハ小穂ガ只 1 個頂生デアルト云フ點ダケデ區別サレずげ屬中ニ於ケル *Primocarex* 亞屬ト同様ニ全ク人爲的ノ分類デアル。例ヘバ *F. polytrichoides*, *F. schoenoides*, *F. subbispicata*, *F. Sieboldii*, *F. ferruginea* ニハ相互ニ密接ナ關係ガ認めラレルガ C. B. CLARKE (in *Kew Bull.* add. ser. 8: 107-108, 1908) ニ從ヘバ *F. polytrichoides* ハ *Eleocharoides* ニ *F. ferruginea* ハ *Dichelostylis* 中ノ *Polystachya* ニ、他ハ *Dichelostylis* ノ *Oligostachya* ニ屬スル。從ツテ小穂ノ數ニヨル分類ハ自然ト一致セヌ全クノ人爲分類ト云ツテ憚ラナイ。又 *F. ferruginea* ト *F. dipsacea* ヤ *F. Stauntoni* トハ著シイ相違ガアルノニ、此ノ分類分式デハ全ク同ジ小群ニ入レラレル事ト成ルガ之レモ不合理デアル様ニ思ハレル。次ニ柱頭ノ數ハ大體種類デ一定シテ居リ、又互ニ近縁ノ種類デハ同數ノ事ガ多イ。*Trichelostylis* 群デハ花柱ノ上部ニ縁毛ガナイガ *Dichelostylis* ノ大部分ニハ縁毛ガアル。柱頭ガ 2 個デ

Dichelostylis 群ニ入ルベキモノデアリ乍ラ縁毛ガナイ若干ノ種類ハ *Trichelostylis* 中ノ種類ニ近縁ノモノガ多イカラ、此等ハ柱頭ノ數ヨソ相違スルガ實際ハ *Trichelostylis* ノ方ニ入レタ方ガ一層自然ノ様ニ考ヘラレル。

本邦ノ種類ハ之レヲ次ノ様ニ 4 亞屬 13 節ニ分類シテ考ヘタイ。尙 BENTHAM ヤ CLARKE ノ用ヒタ *Oligostachya*, *Polystachya*, *Glomeratae*, *Capitatae* 等ノ名稱ハ Type ガハツキリセズ、此ノ分類分式ニアテ様ガナイノデ除外シタ。

- 1) 瘦果ハ長楕圓狀圓柱形……………1. あをてんつき亞屬 (Subg. 1. *Echinolytrum*).
- 1) 瘦果ハ倒卵形。
 - 2) 小穂ハ多少扁平、鱗片ハ少クトモ一部分ハ兩列ニ配列ス。……………2. やりてんつき亞屬 (Subg. 2. *Abildgaardia*).
 - 2) 小穂ハ扁平ナラズ、鱗片ハ全ク螺旋狀ニ配列ス。
 - 3) 花柱ハ細ク、扁平ナラズ、縁毛ヲ有セズ、柱頭ハ 3 又ハ 2 個……………3. ひでりこ亞屬 (Subg. 3. *Trichelostylis*).
 - 3) 花柱ハ多小扁平、稍幅廣シ、縁邊上部ニ縁毛アリ、柱頭ハ 2 個……………4. てんつき亞屬 (Subg. 4. *Dichelostylis*).

1. あをてんつき亞屬ノ検索表

- 1) 小穂ハ 1 個頂生、稜角ナシ、花柱ハ著シク扁平、幅廣ク、鱗片ハ密ニ疊重シ、幅廣ク先端圓シ……………しかくてんつき節 (Sect. 1. *Tetragonæ*)
しかくてんつき (*F. tetragona* R. BR).
- 1) 小穂ハ多數、稜角アリ、花柱ハ細ク、殆ンド扁平ナラズ、鱗片ハ細ク、龍骨アリ、先端芒狀ニ突出……………あをてんつき節 (Sect. 2. *Dipsacæ*)
 - 2) 小穂ハ淡綠色、瘦果ハ纖細ナル柄アリ、縁邊ニハ數個ノ棍棒狀ノ瘤アリ。……………あをてんつき (*F. verrucifera* MAKINO).
 - 2) 小穂ハ帶褐色、瘦果ハ稍無柄、瘤ヲ有セズ。
 - 3) 鱗片ハ長サ 1.5-2 mm、花柱ハ長サ 1.5-2 mm*、柱頭ハ多小鱗片ヨリ抽出、瘦果ハ長サ約 0.7 mm……………はたけてんつき (*F. Stauntoni* DEB. et FRANCH).
 - 3) 鱗片ハ長サ 2-2.5 mm、花柱ハ長サ 2.5-3 mm、柱頭ハ著シク鱗片ヨリ抽出、瘦果ハ長サ 0.8-1 mm……………とねてんつき (*F. tonensis* MAKINO).

2. やりてんつき亞屬ノ検索表

- 1) 鱗片ハ平滑、稍光澤アリ……………やりてんつき節 (Sect. 3. *Monostachyae*).
- 2) 小穂ハ莖上 1-2 個稍大形、淡色又ハ藁色……………やりてんつき (*F. monostachya* HASSK).
- 2) 小穂ハ莖上ニ多數、稍褐色ヲ帶ビ、瘦果ハ小形……………かぜくさてんつき (*F. Eragrostis* HANCE).

* 花柱ノ長サト云フトキニ限リ柱頭ヲ含ム、以下同様。

- 1) 鱗片ハ暗褐色ヲ帯ビ細毛アリ、光澤ナシ……をのへてんつき節 (Sect. 4. *Fuscae*)
- 2) 稈ハ高サ 7-12 cm、小穂ハ少數、有花鱗片ハ長サ 3 mm、瘦果ハ長サ 2/3 mm、基脚ハ稍截形ニシテ短柄アリ、花柱ハ長サ 2 mm ……………ともゑてんつき (*F. straminea* TURRIU).
- 2) 稈ハ高サ 20-40 cm、小穂ハ多數、有花鱗片ハ長サ 4-5 mm、花柱ハ長サ 4-5 mm ……………をのへてんつき (*F. fusca* BENTH).

3. ひてりと亞屬ノ檢索表

- 1) 鱗片ハ殆ド縁毛ナシ、全縁又ハ凸頭、薊ノ先端ハ平滑。
- 2) 稈ハ下方ニ無葉身ノ葉鞘ナシ、小穂ハ披針形又ハ廣披針形、銳頭又ハ稍鈍頭。
- 3) 柱頭ハ常ニ 3 個、瘦果ハ淡色、……ひめてんつき節 (Sect. 5. *Autumnales*)
 - 4) 薊ハ短線形、長サ 1/3 mm ヨリモ短シ、鱗片ハ長サ 1-2 mm、花柱ハ長サ 1-1.5 mm。
 - 5) 葉ハ纖弱、小穂ハ長サ 3-6 mm、鱗片ハ長サ 1.5-2 mm ……………ひめてんつき (*F. autumnalis* ROEM. et SCHUTT).
 - 5) 葉ハ纖弱ナラズ、小穂ハ長サ 2-4 mm、鱗片ハ長サ 1-1.2 mm ……………こごめてんつき (*F. taiwanica* OHWI).
- 4) 薊ハ線形、長サ 2/3 mm 以上、鱗片ハ長サ 1.5-6 mm、花柱ハ長サ 2-6 mm、
 - 5) 根莖ハ殆ド發達セズ、鱗片ハ長サ 1.5-3.5 mm。
 - 6) 葉鞘ハ扁平、背面龍骨狀ヲナス、瘦果ハ長サ 1/2-1 mm。
 - 7) 鱗片ハ長サ 1.5-2 mm、薊ハ長サ 2/3 mm ……………たいわんでんつき (*F. tainanensis* OHWI).
 - 7) 鱗片ハ長サ 3 mm、薊ハ長サ約 1.5 mm。
 - 8) 稈ハ高サ 50-80 cm、葉ハ幅 3-5 mm、花序ハ甚シク多數ノ小穂ヲ稍疎生シ、長サ約 10 cm ……………おほひらてんつき (*F. complanata* LINK).
 - 8) 稈ハ高サ 20-50 cm、葉ハ幅 1.5-3 mm、花序ハ多數又ハ稍多數ノ小穂ヲ稍密ニ生ジ、長サ 2-7 cm ……………のてんつき (*F. complanata* var. *Kraussiana* C. B. CLARK).
- 6) 葉鞘ハ丸シ、瘦果ハ長サ 1.5 mm、薊ハ長サ 1.5-2 mm ……………おにてんつき (*F. Thomsonii* BÖCKLER).
- 5) 根莖ハ匍匐シ長サ 5 cmニ達ス、鱗片ハ長サ 5-6 mm、瘦果ハ長サ 1.2 mm 薊ハ長サ約 2.5 mm ……………のはらてんつき (*F. Pierotii* MIQ).
- 3) 柱頭ハ 2-3 個、瘦果ハ暗色 ……………たまてんつき節 (Sect. 6. *Cymosae*)

- 4) 葉ハ白色ノ毛茸アリ、小穂ハ長サ 6-10 mm 幅 4 mm、鱗片ハ長サ 4 mm、葯ハ長サ 1.5 mm、瘦果ハ長サ 1.5 mm……………びろうどてんつき (*F. sericea* R. BR.).
- 4) 葉ハ無毛、小穂ハ長サ 1 mm 以内。
- 5) 小穂ハ數個ヅツ簇生又ハ單生、瘦果ハ「レンズ」形、稀ニ三角形、柱頭ハ通常 2 個……………しほかぜてんつき (*F. spathacea* ROTH.).
- 5) 小穂ハ多數簇生、瘦果ハ通常三角形、柱頭ハ通常 3 個……………たまたてんつき (*F. cymosa* R. BR.).
- 2) 稈ノ下方ハ 1-3 個ノ無葉身ノ葉鞘ニテ包マル。
- 3) 柱頭ハ 3 個、瘦果表面ノ細胞ハ小形平面ニシテ、瘦果ハ從ツテ殆ド平滑……………ひでりこ節 (Sect. 7. *Miliaceae*)
- 4) 葉身ハ側面ヨリ扁平、劍狀。
- 5) 花序ハ疎、小穂ハ甚鈍頭、赤褐色、鱗片ハ長サ 1 mm 稍開張シ、瘦果ハ三角形……………ひでりこ (*F. miliacea* VAHL.).
- 5) 花序ハ密、小穂ハ稍鈍頭、暗褐色、鱗片ハ斜上、長サ 1.5-2 mm、瘦果ハ扁三角形……………たいわんひでりこ (*F. Koidzumiana* OHWI)
- 4) 葉身ハ上下ニ扁平、小穂ハ稍鈍頭……………いぬひでりこ (*F. quinquangularis* KUNTH.).
- 3) 柱頭ハ 2-3 個、瘦果ノ表面ノ細胞ハ縁邊隆起ス、從ツテ瘦果ニ格子紋アリ……………くろてんつき節 (Sect. 8. *Globulosae*).
- 4) 新芽ノ外ニ株ニハ葉身アル葉ナシ、花序ハ少數ノ小穂ヲ着ク、柱頭ハ通常 3 個……………はなしてんつき (*F. globulosa* KUNTH.).
- 4) 稈ハ葉身ノアル葉ノ腋ヨリ生ズ、小穂ハ稍多數、柱頭ハ通常 2 個……………くろてんつき (*F. diphylloides* MAKINO).
- 1) 鱗片ハ縁毛アリ、凹頭ニシテ急凸頭、葯ノ先端ハ細毛アル小突起ニ終ル、瘦果ハ暗色、レンズ形又ハ三角形、柱頭ハ 2-3 個……………いつすんでんつき節 (Sect. 9. *Leptocladae*).
- 2) 稈ハ高サ 5-15 cm、小穂ハ 1-3 個、鱗片ハ長サ 3 mm、瘦果ハ長サ殆ド 1 mm……………しつすんでんつき (*F. kadzusanana* OHWI).
- 2) 稈ハ高サ 20-30 cm、小穂ハ 5-10 個、鱗片ハ殆ド 2 mmニ近ク、瘦果ハ 2/3 mm……………ちやいろてんつき (*F. Takamineana* OHWI).

4. てんつき亞屬ノ檢索表

- 1) 稈ハ下部ニ通常葉身アル葉アリ、瘦果ニ横皺ナシ。
- 2) 小穂ハ幅 2-7 mm 稜角ナシ。
- 3) 瘦果ニ格子紋ナシ……………しまてんつき節 (Sect. 10. *Ferrugineae*).

- 4) 鱗片ハ1脉又ハ下方ノミ不明3脉。
- 5) 小穂ハ多數乃至小數、瘦果ハ先端丸シ。
- 6) 鱗片ハ淡茶褐色、平滑、稍光澤アリ、花柱ハ長サ 1.5 mm. 葯ハ長サ 1/3 mm. しろぼてんつき (*F. Shimadana* OHWI).
- 6) 鱗片ハ多少暗褐色、通常外面ニ微毛アリ、光澤ヲ缺ク、花柱ハ長サ 3-3.5 mm、葯ハ長サ 1-1.5 mm。
- 7) 全體剛壯、葉身ハ甚ダ短、小穂ハ多數又ハ稍小數、葯ハ長サ 1.2-1.5 mm. しまてんつき (*F. ferruginea* VAHL).
- 7) 全體稍細ク、葉身ハ短ク小穂ハ一莖上 1-5 個、葯ハ長サ 0.8-1 mm. いそやまてんつき (*F. ferruginea* var. *Sieboldii* OHWI).
- 5) 小穂ハ一個、甚ダ稀ニ 2-3 個、瘦果ハ略倒三角形、先端稍截形……すぎどけてんつき (*F. polytrichoides* VAHL).
- 4) 鱗片ハ多數ノ小脈アリ、瘦果ハ有柄。
- 5) 小穂ハ白色ニシテ淡栗色ノ斑アリ、鱗片ハ長サヨリモ巾廣シ、葯ハ長サ 1/2 mm. ひめやまる (*F. schoenoides* VAHL).
- 5) 小穂ハ全體帶褐色又ハ帶淡褐色、鱗片ハ幅ヨリモ長サ幅長シ、葯ハ長サ殆ソド 1 mm. ニ近シ。
- 6) 小穂ハ幅 4-7 mm 黄褐又ハ銹褐色、瘦果ハ長柄アリ、……やまる (*F. subbis picata* NEES et MEY).
- 6) 小穂ハ幅 2.5-3 mm 淡藁褐色、瘦果ハ有柄……いとてんつき (*F. pacifica* OHWI).
- 3) 瘦果ニ格子紋アリ……てんつき節 (Sect. 11. *Dichotomae*).
- 4) 全體無毛、小穂ハ黄褐色。
- 5) 小穂ハ單生又ハ大部分單生。
- 6) 小穂ハ多數、葉ハ幅 2-4 mm、……ながぼてんつき (*F. longispica* STEUD).
- 6) 小穂ハ小數、葉ハ幅 1-1.5 mm. ……ははじまてんつき (*F. hahajimensis* TUYAMA).
- 5) 小穂ハ多數簇生、葉幅 4-5 mm. ……むにんてんつき (*F. boninensis* HAYATA).
- 4) 葉ハ通常有毛、小穂ハ赤褐又ハ栗褐色。
- 5) 瘦果ハ倒卵形、先端圓形、鱗片ハ長サ 2-3 mm、葯ハ長サ 1/2-2/3 mm. ……てんつき (*F. dichotoma* VAHL).
- 5) 瘦果ハ倒三角形、先端稍截形、葯ハ長サ 1.2-1.8 mm。
- 6) 全體殆ド無毛、葉ハ幅 1-2 mm. ……つくしてんつき (*F. dichotoma* var. *Tashiroana* OHWI).

- 6) 葉ハ幅 2-3 mm、有毛 ……………
 ……けつくしてんつき (*F. dichotoma* var. *cincta* OHWI).
- 2) 小穂ハ稜角アリ、幅約 1.5 mm ……あぜてんつき節 (Sect. 12. *Squarrosæ*).
- 3) 花柱ノ基部ハ無毛又ハ殆ド無毛。
- 4) 葉ハ幅 0.7-1.2 mm 瘦果ハ格子紋アリ ……………
 ……………おほあぜてんつき (*F. bis-umbellata* BUBAN).
- 4) 葉ハ幅 1/3-1 mm 瘦果ハ格子紋ナク、殆ド平滑 ……………
 ……………こあぜてんつき (*F. aestivalis* VAHL).
- 3) 花柱ノ基部ニハ瘦果ヲ被フ長毛アリ、瘦果ハ殆ド平滑。
- 4) 鱗片ノ先端ハ長ク開張スル芒トナリ、小穂ハ爲メニ稍房形ヲ呈ス ……
 ……………あぜてんつき (*F. squarrosa* VAHL).
- 4) 鱗片ノ先端ハ短クシテ直立スル芒トナリ、小穂ハ房形ヲ呈セズ ……
 ……………めあぜてんつき (*F. Makinoana* OHWI).
- 1) 稈ハ下部ニ僅數ノ無葉身ノ葉ヲ有スルノミ、瘦果ハ表面中央ニ著シキ横皺ヲ有ス ……
 ……うなづきてんつき節 (Sect. 13. *Nutantes*), うなづきてんつき (*F. nutans* VAHL).

次ニ以上ノ種類ノ内、新種ヤ本邦デノ未記録種等ニツイテ説明シテ見タイ。

- 1) はたけてんつき (*F. Stauntonii*) ハ初メ北支デ採集記載サレタ種類デ北支・中支カラ朝鮮ヲ經テ九州北部ニマデ分布シテキル。北九州ニハ從來記録ガ無カツタガ、初島住彦氏が肥前國杉谷村ニ發見採集セラレ初メテ舊日本ノ「フロラ」ノ一員ト成ツタ。とねてんつきトハ極ク近縁ノモノデ廣イ意味デハ同種トシテモヨイノカモ知レナイ。兩極端形ノ間ハ餘リ區別ガハツキリセヌガ、一定ノ地理的分布ヲ有スルシ兩方ノ正常形ノ間デハ區別ガハツキリシテキルノデマヅ別種ト認メラレル。此ノ二植物ノ差ニツイテハ松田定久氏が東京植物學雜誌 28 卷 300 頁デ論ジテ居ラレル。 2) ともゑてんつき 初メシヤムデ記載サレタ本種ハ琉球諸島中ノ西表島、沖繩島及ビ南鮮ノ智異山麓ニマデ分布スルノガ明ニナツタ。*F. straminea* ハ結局 *F. subfusca* C. B. CLARKE ト區別ガ出來ナイモノカモ知レナイガ、E. G. GAMUS ニヨルト後者ハ花柱ノ基部ニ毛茸ガアルト云フ。ともゑてんつきハ葉ガ巴狀ニ回旋スルノニチナンダノデ本邦産ノ内デハをのへてんつきニ最モ近イガ後者デハ全體ガ大形デ小穂ノ數モ多イ。をのへてんつきハ印度デ記載サレ印度支那・南支那・比律賓ニモ分布スルニカカハラズ琉球及臺灣ニ見出サレズ、本州ニモ分布セヌ様デアルノハ面白イ。
- 3) ことめてんつき ひめてんつきヤひらてんつきノ群ハ互ニ類似シテ居テ分類ガ面倒デアルガ鱗片及葯ノ長サガ特徴ニ成ル。ひめてんつき (ひめひらてんつき) デハ葯ハ短線形デ長サ 1/4 mm 前後デアルガ、ひらてんつき及ビおほひらてんつきデハ葯ハ長線形デ 2/3 mm ヨリモ長ク、通常 1.5 mm デアル。こご

めてんつきハ臺灣ノ産デアツテひめてんつきニ似テ全體ガ稍硬ク、小穂ガ短ク暗色ヲ帯ビ、鱗片ガ一層短カイ。恐ラク C. B. CLARKE ノ云フ *F. complanata* var. *microcarpa* ノ一部ハ之レニ當ルモノカモ知レナイ。 4) **たいわんでんつき** 本種モ臺灣南部ノ産デひらてんつきニ似テキルガ鱗片ヤ葯ガ長サ半分程ニ過ギナイ。 5) **まにてんつき** 印度ヤ支那、比律賓等ニ分布スル *F. Thomsonii* ガ臺灣ニ見出サレタノデ上記ノ新和名ヲ付シタ。館脇操氏ガ臺中州デ、小田島喜次郎氏ガ臺北州デソレゾレ發見採集セラレタ。おほひらてんつきニ似テ小穂ガ幅廣ク大形デ瘦果モ大イ。 6) **はなしてんつき** 印度カラ太平洋諸島ニカケテ分布スル本種モ琉球ニ見出サレテ本邦ニアルコトガ確メラレタ。臺灣ニハアル事ニナツテキタガ不確デアツタ。曾ツテ C. B. CLARKE ニヨツテ本種ノ變種 var. *Torresiana* ガ佐渡ニ報告サレタガくろてんつきノ誤認デアツテ本種デハナイ。くろてんつきト共ニ自然ノ一小群ヲナスモノデひでりコ群トハ瘦果ノ格子紋ガ明瞭デアル點ノミデ區分サレル。本種ハ柱頭ハ3個デアルガ稀デアルガ稀ニ2個ノモノモ混合スル。又くろてんつきデハ2個デアルガ極稀ニハ3個ノモノモ交ヘル。シカシひでりコ群デハ2個ノモノハ見當ラナイ様デアル、尙小生ガ前年いぬひでりコノ學名ヲ *F. quinquangularis* KUNTH. トシタ際ニ誤ツテ *F. Koidzumiana* トシタガ之レハ *F. Fauriei* ノ誤リデアルノデ此處ニソノ罪ヲ謝シ誤リヲ訂正スル。 7) **しまてんつきトいそやまてんつき** トハ別種デハナク、後者ハ前者ノ北ニ分布シタ出來ノ悪イ一型ニ過ギナイト思ハレルノデ變種ニ改メル、實際南九州ノ標本ヲ澤山見テ居ルト區別ニ困ル様ナ形ガ飛出シテ迷惑サセル。 8) **いとてんつき** 舊日本ノ南部ヤ琉球諸島ノ海岸近くノ濕地ニ生ズルすぎごけてんつきト云ハレタモノハ、實際ハ *F. polytrichoides* 即チすぎごけてんつきデハナク、やまると似タ別ノ一品デアル、*F. polytrichoides* デハ鱗片ノ脈ハ1本デ瘦果ハ無柄倒三角形ニ近イガ、本種デハ鱗片ガ多ク瘦果ハ有柄デ倒卵形デアル。 9) **てんつき** 從來 *F. annua*, *F. diphylla* ノ名デ知ラレテ居タ本種ハ TRIMEN ヤ C. E. C. FISCHER ニヨルト一層早イ *Scirpus dichotomus* LINN. ガ本種ニ外ナラヌト云フ。色々ノ形ガアツテ最モ氣ニナル植物デアルガソレノ變異ハ品種トシテ認メタイ。又九州ノ温泉地ニノミ見出サレルつくしてんつきモ本種ノ變種トシテ取扱フ方ガ自然デアラウ。 10) **めあせてんつき** おほあせてんつき、こあせてんつき、あせてんつき等ハ外觀ノ互ニヨク似タ植物デ、外形ダケデ判斷スルノハ危険デアル。おほあせてんつきハ本邦デハ臺灣カラ琉球ニカケテ分布シテ居ルガあせてんつきハ本邦デハ本州ト朝鮮ノ標本ヲ見テ居ルダケデ、北海道・四國・九州ニ

モ記録ハアルガ京大ニハナイ、又 C. B. CLARKE (Journ. Linn. Soc. 36: 244) 以後臺灣ニモアル事ニナツテ居ルガ、CLARKE ノ引用シタ臺灣ノ標本ハ同時ニ *F. æstivalis* ニモ引用サレテ居ルシ臺灣ニアルト云フノハ少々疑ハシイ。*F. æstivalis* 即チこあぜてんつきハ又奇妙ナ事ニハ本州ト臺灣ノ標本ガアルダケデ京大ニハソレ以外ノ標本ガナイ。又めあぜてんつきハ本州四國九州及朝鮮ニ産シあぜてんつきト共ニ花柱ノ基部ニ長毛ガアルノデ區別サレル。あぜてんつきトノ相違ハ鱗片ノ芒ガ短クテ開張セズ、ソノ爲メニあぜてんつきノ様ニ小穂ガ房ノ様ニ成ル事ガ無イ點ニアツテ、中間型ハ出ナイ様デアルカラ別種トシテモ良イト考ヘラレル。

Dispositio subgenerum et sectionum

Subgenus 1. **Echinolytrum** (DESV.) OHWI, comb. nov.—gen. *Echinolytrum* DESV. in Journ. Bot. 1 (1808) 21, t. 1.—*Mischospora* BÖCKL. in Flora 43 (1860) 113.—Spiculæ spirale dispositæ, achenia oblongocylindrica vix vel leviter compressa, styli subpersistentes, ramis 2-3.

Sect. 1. **Tetragonæ** OHWI, sect. nov.—Spicula singula terminalis latiuscula teres, squamæ latiusculæ muticæ, stylus compressus latiusculus margine ciliatus.—Spec. Jap. *F. tetragona* R. BR.

Sect. 2. **Dipsacæ** OHWI, sect. nov.—Spiculæ plures angulatæ sæpe squarrosæ, squamæ angustæ carinatæ apice aristatæ, stylus tenuis glaber.—Spec. Jap. *F. verrucifer* MAKINO, *F. Stauntoni*, FRANCH. et DEBEAUX, *F. tonensis* MAKINO.

Subgenus 2. **Abildgaardia** (VAHL) OHWI, comb. nov.—gen. *Abildgaardia* VAHL, Enum. Plant. 2 (1806) 296.—*Cyperus* sect. *Abildgaardia* (VAHL) ENDL. Gen. Plant. (1836) 119.—*Fimbristylis* sect. *Abildgaardia* (VAHL) BENTH. Flor. Austral. 7 (1878) 299 et in BENTH. et HOOKER, Gen. Plant. 3 (1883) 1048.—Squamæ saltem partim subdistiche imbricatæ, achenia obovata trigona, stylus tenuis glaber vel superne parce ciliatus, ramis 3.

Sect. 3. **Monostachyæ** OHWI, sec. nov.—Spiculæ pallidæ vel straminecentes, squamæ glabræ læves nitidulæ.—Spec. Jap. *F. monostachya* HASSK., *F. Eragrostis* HANCE.

Sect. 4. **Fuscæ** OHWI, sect. nov.—Spiculæ plures angustæ fuscescentes sæpe paucifloræ opacæ, squamæ adpresse puberulo-scaberulæ, achenia minora

basi subito angustata.—Spec. Jap. *F. fusca* BENTH., *F. staminea* TURRILL.

Subgenus 3. **Trichelostylis** (LESTIB.) OHWI, comb. nov.—gen. *Trichelostylis* LESTIB. Ess. fam. Cypér. (1819) 40,—*Isolepis* sect. *Trichelostylis* (BESTB.) ENDL. Gen. Plant. (1836) 118.—*Fimbristylis* sect. *Trichelostylis* (LESTIB.) A. GRAY. Man. Bot. ed. 5 (1874) 567; BENTH. Flor. Austral. 7 (1878) 299 et in BENTH. et HOOK. Gen. Plant. 3 (1883) 1049.—Spiculæ spirale dispositæ, stylus tenuis non ciliatus, ramis 3 rarius 2, achenia obovata trigona vel rarius biconvexa.

Sect. 5. **Autumnales** OHWI, sect. nov.—Culmi basi sine vaginis aphyllis, spiculæ plures lanceolatae vel oblongo-ovatae angulatae, squamæ carinatae plerumque acutæ, antheræ glabræ, achenia trigona albostraminea obsolete punctata, styli rami 3.—Spec. Jap. *F. autumnalis* ROEM. et SCHULT., *F. taiwanica* OHWI, *F. tainanensis* OHWI, *F. Thomsonii* BÖCKLE., *F. complanata* LINK, *F. Pierotii* MIQ.

Sect. 6. **Cymosæ** OHWI, sect. nov.—Culmi firmi, basi sine vaginis aphyllis, spiculæ plures solitariae vel sæpius agglomeratae plus minus angulatae anguste oblongæ obtusulæ vel acutæ, squamæ carinatae, antheræ glabræ, achenia trigona vel biconvexa demum atrobrunnea obsolete punctulata, styli rami 2 vel 3.—Spec. Jap. *F. cymosa* R. BR., *F. spathacea* ROTH, *F. sericea* R. BR.

Sect. 7. **Miliacæ** OHWI, sect. nov.—Culmi inferne vaginis plus minus compressis tecti, spiculæ plures parvæ ovatae vel globoso-ovatae obtusæ vel acutiusculæ, squamæ obtusæ, antheræ glabræ, achenia cellulis extimis planiusculis minutis lævia vel punctulata.—Spec. Jap. *F. miliacea* VAHL, *F. Koidzumiana* OHWI, *F. quinquangularis* KUNTH.

Sect. 8. **Globulosæ** OHWI, sect. nov.—Culmi inferne vaginis aphyllis tecti, spiculæ parvæ plures ovato-globosæ obtusæ, squamæ obtusæ, antheræ glabræ, achenia cancellata trigona vel biconvexa, styli rami 3 vel 2.—Spec. Jap. *F. globulosa* KUNTH, *F. diphyloides* MAKINO.

Sect. 9. **Leptocladæ** OHWI, sect. nov.—Culmi basi foliati, sine vaginis aphyllis, spiculæ oblongæ obtusæ angulatae, squamæ pertenuiter membranaceæ ciliatæ, ex apice exciso cuspidatæ, achenia nigrescentia biconvexa vel trigona, styli rami 3 vel 2., antheræ apice connectivo setuloso terminatæ.—Spec. Jap. *F. kadzusana* OHWI, *F. Takamineana* OHWI.

Subgenus 4. **Dichelostylis** (BENTH.) OHWI, comb. nov.—*Fimbristylis* sect. *Dichelostylis* BENTH. Flor. Austral. 7 (1878) 299 et in BENTH. et HOOK. Gen. Plant. 3 (1883) 1049.—Spiculæ spirale dispositæ, achenia obovata biconvexa, stylus compressus margine superne ciliatus, ramis 2.

Sect. 10. **Ferrugineæ** OHWI, sect. nov.—Culmi basi foliati, spiculæ plures vel 1, medioeriter longæ ovaæ acutiusculæ teretes, squamæ vix carinata, achenia sublævia vel punctulata nec cancellata brunnea.—Spec. Jap. *F. Shimagadana* OHWI, *F. ferruginea* VAHL, *F. polytrichoides* VAHL, *F. schænoides* VAHL, *F. subbidicata* NEES et MEX., *F. pacifica* OHWI.

Sect. 11. **Dichotomæ** OHWI, sect. nov.—Culmi basi foliati, spiculæ plures ovatæ vel oblongo-ovatæ medioeres acutæ teretes, squamæ vix carinata, achenia cancellata pallida vel pallide brunnea.—Spec. Jap. *F. dichotoma* VAHL, *F. longispica* STEUD., *F. boninensis* HAYATA, *F. hahajimensis* TUYAMA.

Sect. 12. **Squarrosæ** OHWI, sect. nov.—Culmi graciles basi sine vaginis aphyllis, spiculæ plures lanceolatæ angustæ acutæ angulatæ, squamæ carinata conspicue mucronatæ, achenia punctulata vel minute cancellata.—Spec. Jap. *F. squarrosa* VAHL, *F. aestivalis* OAHN, *F. bis-umbellata* BUBAN.

Sect. 13. **Nutantes** OHWI, sect. nov.—Culmi tenues basi vaginis aphyllis tecti vix foliosi, spiculæ ovatæ vel oblongo-ovatæ teretes, squamæ vix carinata, achenia medio transverse grosse pauci-rugosa albida, cellulis extimis obsolete.—Spec. Jap. *F. nutans* VAHL.

Species novæ vel minus cognitæ

1) **Fimbristylis Stauntoni** DEBEAUX et FRANCH. in DEBEAUX, Flor. Tchefou in Act. Soc. Linn. Bord. 31 (1877) t. 3 et 32 (1878) 38; FRANCH. in Mém. Soc. Nat. Cherb. 31 (1884) 263; L. B. CLARKE in Journ. Linn. Soc. 36 (1903) 245; MATSUDA in Bot. Mag. Tokyo 28 (1914) 300.

Fimbristylis tonensis (vix MAKINO) PALLA in Mond. Pl. (1910) 40.

Nom. Jap. *Hatake-tentsuki* (M. KITAGAWA).

Hab. Korea: Unnahmen in Kannan (N. NOMURA), Chinampo (U. FAURIE n. 1432).

Kiushiu: Sugitanimura in Hizen (S. HATUSIMA).

New to the Flora of Japan Proper.

2) **Fimbristylis straminea** TURRILL in Kew Bull. (1911) 192; E.G. CAMUS in LECOMTE, Flor. Génér. Indochin. 7 (1912) 124.

Nom. Jap. *Tomoe-tentsuki*.

Hab. Korea : m. Chiisan (M. K. BOKU).

Riukiū : ins. Iriomote (S. TAWADA n. 546), ins. Okinawa (S. SAKAGUCHI).

New to the Flora of Japan.

3) **Fimbristylis taiwanica** OHWI, sp. nov.

Rhizomate nullo, culmis cæspitosis tenuibus lævibus ancipitibus vel compressotrigonis 20–30 cm altis erectis, basi foliatis, folis culmo brevioribus mollibus 1.5–2.5 mm latis planis, præter marginem superne scaberulam lævibus, ad apicem abrupte acutum versus sensim angustatis, vaginis subdistiche dispositis compressiusculis carinatis lævibus, antice albomembranaceo ferrugineo-striolatis fissis, ore dorso annulo pilorum brevissimorum cinctis, anthela decomposita laxiuscula polystachya pluriradiata 4–5 cm longa, bracteis 3–4, infima lineari anthela brevior suberecta, reliquis setaceis brevibus, radiis tenuibus usque ad 4 cm longis superne cum radiolis radiolulisque scabriusculis, bracteolis brevi-setaceis, spiculis solitariis lanceolatis angulatis acutis 2–4 mm longis 1 mm latis laxiuscule 5–7-floris ferrugineo-brunneis opacis, squamis ovatis 1–1.2 mm longis tenuimembranaceis ferruginescentibus et brunneo-striolatis acutis et subrecurvato-mucronatis, margine dilutioribus, dorso acute carinatis trinervis, achenio 1/2 mm longo albostraminescente læviseulo obtuse trigono umbonato, cellulis extimis transverse oblongis planis minutis obsolete lineolato, stylo vix 1 mm longo glabro basi incrassato, ramis 3 mediocriter longis papulosis, staminum (2) antheris brevi-linearibus 1/4 mm longis muticis.

Nom. Jap. *Kogome-tentsuki*.

Hab. Formosa : Tainan (ex Hb. T. ITO).

4) **Fimbristylis tainanensis** OHWI, sp. nov.

Rhizomate brevi, culmis cæspitosis superne subalato-ancipitibus vel compresso trigonis ca. 60 cm altis tenuibus, suderne margine scaberulis, basi foliatis, foliis planis 3–5 mm latis subrigidis margine superne scabris, apice abrupte acutissimis, vaginis compressis distiche imbricatis, ore dorso annulo

pilorum brevissimorum einetis, sæpe partim fusco-suffusis, anthela densiuscula polystachha composita vel decomposita 3-4 cm longa, bracteis 2-4, infimalineari anthelam subæquante, reliquis brevibus setaceis, radiis pluribus compressis margine superne cum radiolis crebris scabre usque ad 2 cm longis, anthelulis brevissime setaceo-bracteolatis, spiculis solitariis vel pauci-aggregatis anguste oblongis vel late lanceolatis acutiusculis 4-6 mm longis angulatis 1.5-2 mm latis castaneo- vel fusco-brunneis opacis laxiuscule 5-10-floris, squamis tenuimembranaceis oblongis abrupte acutis et submurconatis lateribus brunnescentibus et castaneo-striolatis, marginibus albohyalinis, dorso viridi demum straminescente acute carinatis, 1.5-2 mm longis trinervis, achenio albostraminescente trigono obovate verrucoso subsessili, 0.7 mm longo, apice umbonato, cellulis extimis obsoletissimis transverse oblongis minutis planis obsolete punctulato, stylo 2 mm longo glabro basi incrassato ad medium usque trifido, ramis papulosis, staminum (3) antheris linearibus 2/3 mm longis fuscis muticis vel brevissime mucronatis.

Nom. Jap. *Taiwan-tentsuki*.

Hab. Formosa: Seira, Kobigun in Tainan-shu (Y. SHIMADA n. 4456). Typus in Herb. Imper. Univers. Kyoto), Bihiyu in Takaoshu (S. OKAMOTO), Rokki in Takaoshu (S. OKAMOTO).

5) **Fimbristylis Thomsonii** BÖCKLER. in Linnæa 37 (1871) 37; C.B. CLARKE in Hk. f. Flor. Brit. Ind. 6 (1893) 646 et in Journ. Linn. Soc. 36 (1903) 246; E. G. CAMUS in LECOMTE, Flor. Génér. Indochin. 7 (1912) 117; MERRILL, Enum. Philipp. Fl. Pl. 1 (1922) 127.

Nom. Jap. *Oni-tentsuki*.

Hab. Formosa: Baibara in Taichushu (M. TATEWAKI), Sanshikyaku in Taihokushu (K. ODASHIMA n. 493).

6) **Fimbristylis globulosa** (RETZ.) KUNTH, Enum. Plant. 2 (1837) 231; C.B. CLARKE in Journ. Linn. Soc. 36 (1903) 237; E. G. CAMUS in LECOMTE, Flor. Génér. Indochin. 7 (1912) 115; MERRILL, Enum. Philipp. Fl. Pl. 1 (1922) 123.

Nom. Jap. *Hanashi-tentsuki*.

Hab. Riukiu: ins. Iriomote (G. KOIDZUMI), ins. Ishigaki (E. TAKAMINE), ins. Yonakuni (G. KOIDZUMI; S. TAWADA n. 511). New to the Flora of Japan.

7) **Fimbristylis ferruginea** (LINN.) VAHL, Fnum. Plant. 2 (1806) 291; DECNE in Nouv. Ann. Paris 3 (1834) 362; C. B. CLARKE in Journ. Linn. Soc. 36 (1903) 235 et in Philipp. Journ. Sci. 2 (1907) 94; MAKINO in Bot. Mag. Tokyo 10 (1896) 65; MATSUM. Ind. Plant. Japon. 2:1 (1905) 149; MATSUM. et HAYATA, Enum. Plant. Formos. (1906) 483.

Scirpus ferrugineus LINN. Spce. Plant. (1753) 50.

Nom. Jap. *Shima-tentsuki*.

Hab. Riukiu, Formosa, Bonin.

var. **Sieboldii** (MIQ.) OHWI, comb. nov.

Fimbristylis leiocarpa MIQ. in Ann. Mus. Bot. Lugd. Bat. 2 (1865) 144 non MAXIM.

Fimbristylis Sieboldii MIQ. Cat. Mus. Bot. Lugd. Bat. (1870) 118, nom. sol.; FRANCH. et SAVAT. Enum. Plant. Japon. 2 (1879) 118, cum synonym.; MAKINO in Bot. Mag. Tokyo 4 (1890) 229; C. B. CLARKE in Journ. Linn. Soc. 36 (1903) 151 et in Bull. Géogr. Bot. 14 (1904) 198; MATSUM. Ind. Plant. Japon. 2:1 (1905) 151; NAKAI, Flor. Korean. 2 (1911) 291 et 514.

A typo differt omnibus partibus minus firmis et tenuioribus, foliis sæpe parum elongatis, sed culmo plerumque multo brevioribus, anthela simpliciter pauci-(1-5)-spiculosa, antheris 0.8-1 mm longis.

Nom. Jap. *Isoyama-tentsuki*.

Hab. Hondo, Shikoku, Kiushiu, Korea, Riukiu.

8) **Fimbristylis pacifica** OHWI, sp. nov.

Fimbristylis polytrichoides C. B. CLARKE in Bull. Géogr. Bot. 14 (1904) 199; MATSUM. Ind. Plant. Japon. 2:1 (1905) 151 ex pte, non VAHL.

Rhizomate nullo vel brevissimo tenui, culmis pluribus 10-30 cm altis pertenuibus obtusangulis compressis striatis lævibus, basi paucifoliatis, foliis culmo multo vel modice brevioribus angustissimis planis arcuatis e cinereoviridibus 1/2-2/3 mm latis glabris, a pice abrupte acutis, præter marginem superne parce scabram lævibus, vaginis brevibus ferruginescentibus membranaceis glabris

apice oblique truncatis, anthela 1-vel rarissime 2-spiculosa, ebracteata vel bractea unica spiculam interdum superante prædita, spiculis oblongis vel anguste oblongis teretibus obtusiusculis 7-15 mm longis 2.5-3 mm latis dense plurifloris straminescentibus, squamis ovatis vel ellipticis membranaceis sordide stramineis et superne ferrugineo-maculatis obtusis et mucronulatis vel submuticis vix carinatis tenuiter plurinervulosis, dorso superne subcostatis, 3-4 mm longis glabris, achenio orbiculato-obovato margine acutiusculo compresso biconvexo albido demum brunneo stipitiato humile umbonato 1 mm longo, cellulis extimis minutis 6-gonis margine vix elevatis punctato-reticulato, stylo 3-3.5 mm longo compresso, basi sublato, superne margine ciliato, ramis 2 papulosis, staminum (2) antheris linearibus vix 1 mm longis apice breviter acuminato-productis.

Nom. Jap. *Ito-tentsuki*.

Hab. Hondo : ins. Hachijo (S. KITAMURA).

Shikoku : Shimidzu in Tosa (J. OHWI, Type!).

Kiushiu : Yoshiimura in Hizen (T. CHIBA), ins. Amakusa (T. TOMITA ; T. TANIYAMA).

Riukiu : ins. Oshima (U. FAURIE n. 4347), ins. Okinawa (S. SAKAGUCHI ; S. TAWADA ; Y. TAIRA), ins. Iriomote (G. KOIDZUMI).

9) **Fimbristylis dichotoma** (LINN.) VAHL, Enum. Plant. 2 (1806) 287 ex pte ; C. E. C. FISCHER in Kew Bull. (1911) 150.

Scirpus dichotomus LINN. Spec. Plant. (1753) 50.

forma 1. **annua** (ALL.) OHWI, comb. nov.

Scirpus annuus ALL. Flor. Pedem. 2 (1785) 277.

Fimbristylis annua (ALL.) ROEM. et SCHULT. Syst. 2 (1817) 95.

Nom. Jap. *Tentsuki*.

Hab. Japonia australiori satis communis (!).

forma 2. **floribunda** (MIQ.) OHWI, comb. nov.

Fimbristylis diphylla var. *floribunda* MIQ. in Ann. Mus. Bot. Lugd. Bat. 2 (1865) 144.

Nom. Jap. *Kugu-tentsuki*.

Hab. Japonia australiori satis communis (!)

forma 3. **depauperata** (C. B. CLARKE) OHWI, comb. nov.

Fimbristylis diphylla var. *depauperata* C. B. CLARKE in Hk. f. Flor. Brit. Ind. 639.

forma 4. **tomentosa** (VAHL) OHWI, comb. nov.

Fimbristylis tomentosa VAHL, l. c. (1806) 290.

Fimbristylis diphylla var. *tomentosa* (VAHL) BENTH. Flor. Hongkong. (1861) 392; FRANCH. et SAVAT. ENUM. Plant. Japon. 2 (1879) 118.

Nom. Jap. *Ke-tentsuki*.

Hab. Japonia australiori satis communis (!).

var. **Tashiroana** (OHWI) OHWI, comb. nov.

Fimbristylis Tashiroana OHWI in Bot. Mag. Tokyo 45 (1931) 377.

Foliis angustis 1–2 mm latis, glabris, spiculis elongato-oblongo-ovatis 8–15 mm longis longius (2–7 cm) pedicellatis, squamis suberectis oblongis 4 mm longis, achenio obtriangulato-obovato, paullo infra apicem latissimo, subtruncato, antheris 1.2–1.8 mm longis.

Nom. Jap. *Tsukushi-tentsuki*.

Hab. Kiushiu (!).

var. **cincta** (OHWI) OHWI, comb. nov.

Fimbristylis Tashiroana OHWI var. *cincta* OHWI, l. c. (1931) 378.

Foliis latioribus 2–3 mm latis pilosis, cetera ut in var. *Tashiroana*.

Nom. Jap. *Ke-tsukushitentsuki*.

Hab. Kiushiu (!).

10) **Fimbristylis Makinoana** OHWI, sp. nov.

Fimbristylis squarrosa var. *esquarrosa* MAKINO in Bot. Mag. Tokyo 17 (1903) 47.

Fimbristylis leiocarpa (non MAXIM.) KOMAR. et ALIS. Key Pl. Far East, Reg. USSR. 1 (1931) 265, t. 78, f. sup.

Rhizomate nullo, culmis caespitosis gracilibus compressis subtrigonis striatis mollibus 10–25 cm altis, basi pauci-foliatis, foliis angustissimis planis vel conduplicatis parce pilosis 1/3–1/2 mm latis culmo multo brevioribus flaccidis, apice acuminatis, vaginis ferrugineis membranaceis pilosulis 2–4 cm longis, anthela composita vel decomposita laxiusecula 2–4 cm longa, pluri-

vel pauci-radiata, bracteis 3-7, infima anthelam aequante basi dilatata dorso puberula, radiis tenuissimis laevibus, bracteolis brevisetaceis, spiculis lanceo-latis acutis 4-7 mm longis 1-1.5 mm latis solitariis subdense plurifloris angulatis ferruginescentibus vel straminescentibus opacis, squamis oblongis suberectis tenuimembranaceis 1.5-2 mm longis viridi-carinatis ferrugineo-suffusis, apice obtusulo brevistaristatis, arista recta vel rectiuseula $1/5-1/10$ squamæ æquante, lævi, achenio obovato stramineo compresso nitido sessili $1/2$ mm longo non verrucoso, apice umbonato, cellulis extimis minutissimis 6-gonis obsolete striolato-punctulato vel sublævi, stylo vix 1.5 mm longo tenui margine ciliato, basi incrassata pilis longis reflexis prædito, ramis 2 tenuibus papulosis, staminum (1) antheris brevilinearibus $1/4$ mm longis.— A *F. squarroso* VAHL differt, spiculis non squarrosis, squamis apice arista brevissima recta vel rectiuseula nec patente terminatis.

Nom. Jap. *Me-azetentsuki*.

Hab. Hondo, Shikoku, Kiushiu, Korea. Typus: Matagaike in Osaka, Prov. Settsu, Hondo (N. UI n. 40).

ミクロネシアノそてつニ就キテ

金 平 亮 三

Ryôzô KANEHIRA: On the Micronesian Species of *Cycas*

我南洋群島即チミクロネシアノそてつヲ論ズルニハ J. SCHUSTER ノ發表シタ Cycadaceæ ノ Monograph 即チ ENGLER, Pflanzenreich Heft 99 (1932) ヲ参照スルコトガ必要デアル、ソノ分布ハ Fig. 1. ニ示シタ様ニ西ハ Mozambique 海峡ヲ堺トシテ Madagascar 島ヲ入レ北ハ英領印度大陸ノ北東部、ビルマ・支那南部、臺灣・琉球・南九州・東北デハマリヤナ群島ヲ極限トシ東部デハビスマルク群島、ソロモン・ニューヘブライド・フィジーノ諸島、南ハスマトラ・爪哇・濠洲大陸ノ北部、ニューカレドニアニ到ツテ居ル。

ソノ種類ハ SCHUSTER ニヨルト次表ノ通り。